

# 整形外科外来だより

No 12 2007/07/01 けいゆう病院 整形外科 発行

## ◆7月から整形外科のドクターが替わります◆

7月そろそろ夏休みの季節ですが、整形外科でも金曜日外来担当の森山先生が転勤になります。替わりに大学からフレッシュな廣瀬先生が赴任されます。まだ若いですが優秀な優しい先生ですので皆様宜しくお願い致します。



## ◆手のしびれは何の徴候◆

今回は手のしびれのお話です。手のしびれを感じる方は結構多いと思います。なぜならその原因となる疾患が多いからです。では一番多いのは何かといえばやはり頸椎の疾患でしょう。頸椎症性脊髄症というあまり聞いたことがない病名ですが、しびれが両手から両足と広がってきて、やがて箸が持ちにくくなったり、ボタンがやりずらくなったりします。さらに進むと足が重くなり、膝がガクガクして階段の昇降が困難になります。頸部の痛みはないこともありますのでこのような症状がでましたらすぐに受診してください。整形では鎌田、市原、廣瀬と3人も脊椎専門医がおりますので安心して受診していただけます。片手のしびれの原因には手根管症候群があります。親指から薬指にかけてしびれますが、小指はしびれません。原因は正中神経が手関節で靭帯に締められて（専門用語では絞扼といいます）しびれてきます。特に夜間にしびれが強くなり眠れなくなったり、同時に指の腱鞘炎も合併していて痛みが強くなったりするかたも方もいらっしゃいます。毎日5分間手を挙上してグーパー運動をすると良くなりますが、親指の付け根の筋肉がやせ細ってきたら要注意で、手術をしないと治らなくなります。薬指と小指がしびれるときは尺骨神経の絞扼傷害で、肘部管症状群です。肘関節の変形が原因のことが多いのでレントゲン検査が必要です。神経の絞扼障害では筋電図という検査を追加します。神経の通電検査です。頸椎椎間板ヘルニアではしびれよりも痛みが主な症状となります。頸部から上腕にかけての痛みがあって、腕を上げると軽くなるようなときはヘルニアによる神経痛の可能性が高いです。頸椎用のコルセットをつければ楽になります。稀ですが左の腕が痛むときは心筋梗塞も考えなければなりません。心電図で一発診断、当院循環器の永見、小山田先生の受診となります。20台の若い女性では胸郭出口症候群があります。なで肩で、腕を上げるとヘルニアと反対で腕の痛み、しびれが強くなります。電車ですり革につかまれない、高いところのものが取れないなどが具体的な症状です。MR アンギオという検査をすると診断可能です。（文責 鎌田修博）